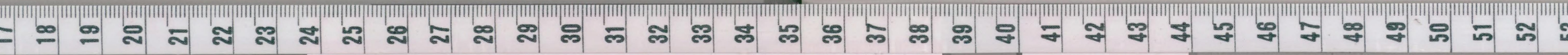
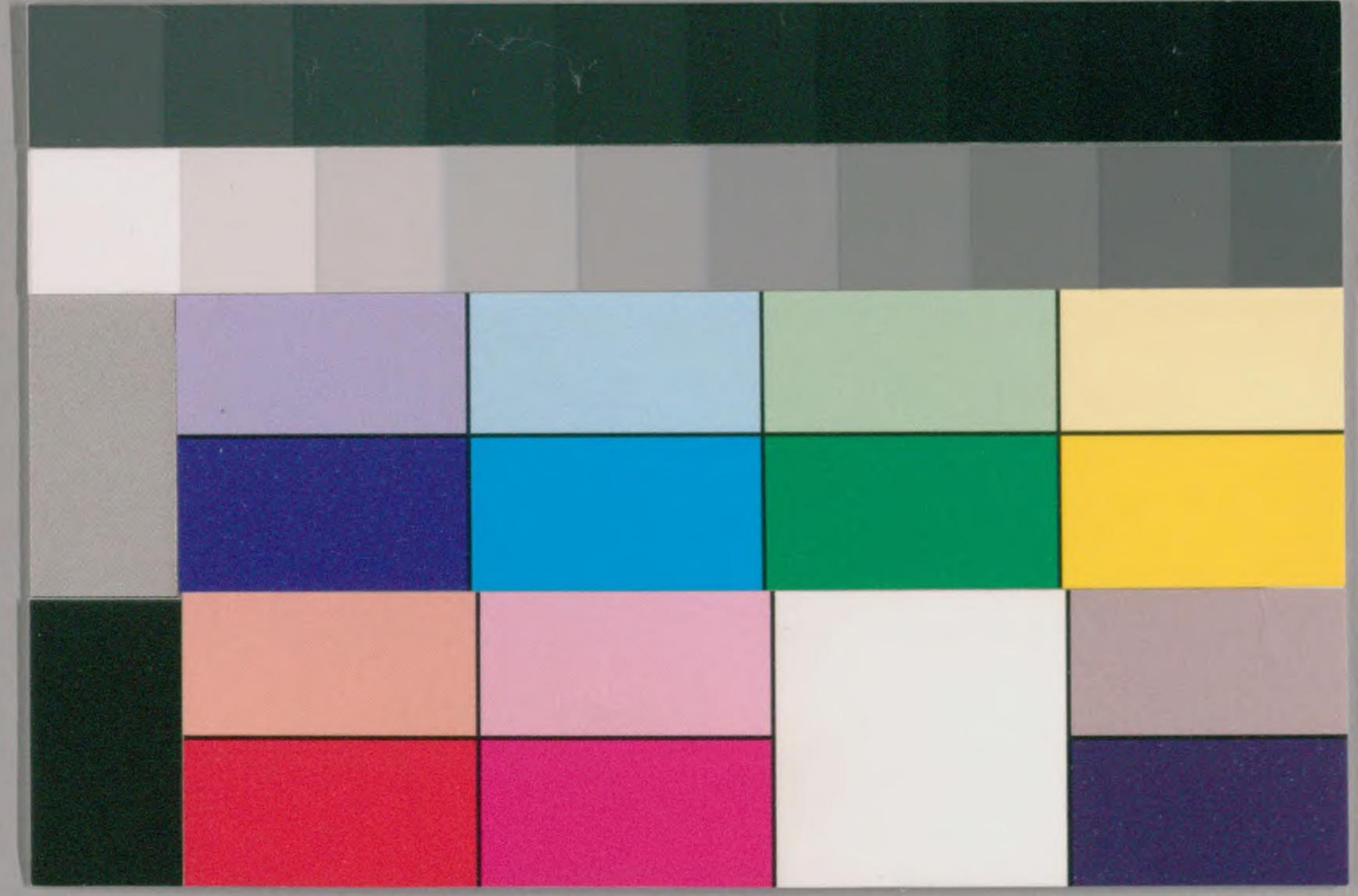


長生花林抄
五

特1
2955



国立国会図書館 タイトル『長生花林抄 5巻』 請求記号 特1-2955

ガラス使用

白比呂のつら入
のこわりの如給ニそ



神そとのま

白井氏藏書

うきのか



特 1
2955

花がし



花秋志人ともがら

も咲八月の比も稀
よさく

神のこ

花秋神すまふさつ
糸牛は船のこ
たぐんわりあか
うす色のつんらひ

あり枝もあをり
まろし花あくあ
まろ咲物もれは
たよにて採乃
くを年のあ
しんこ

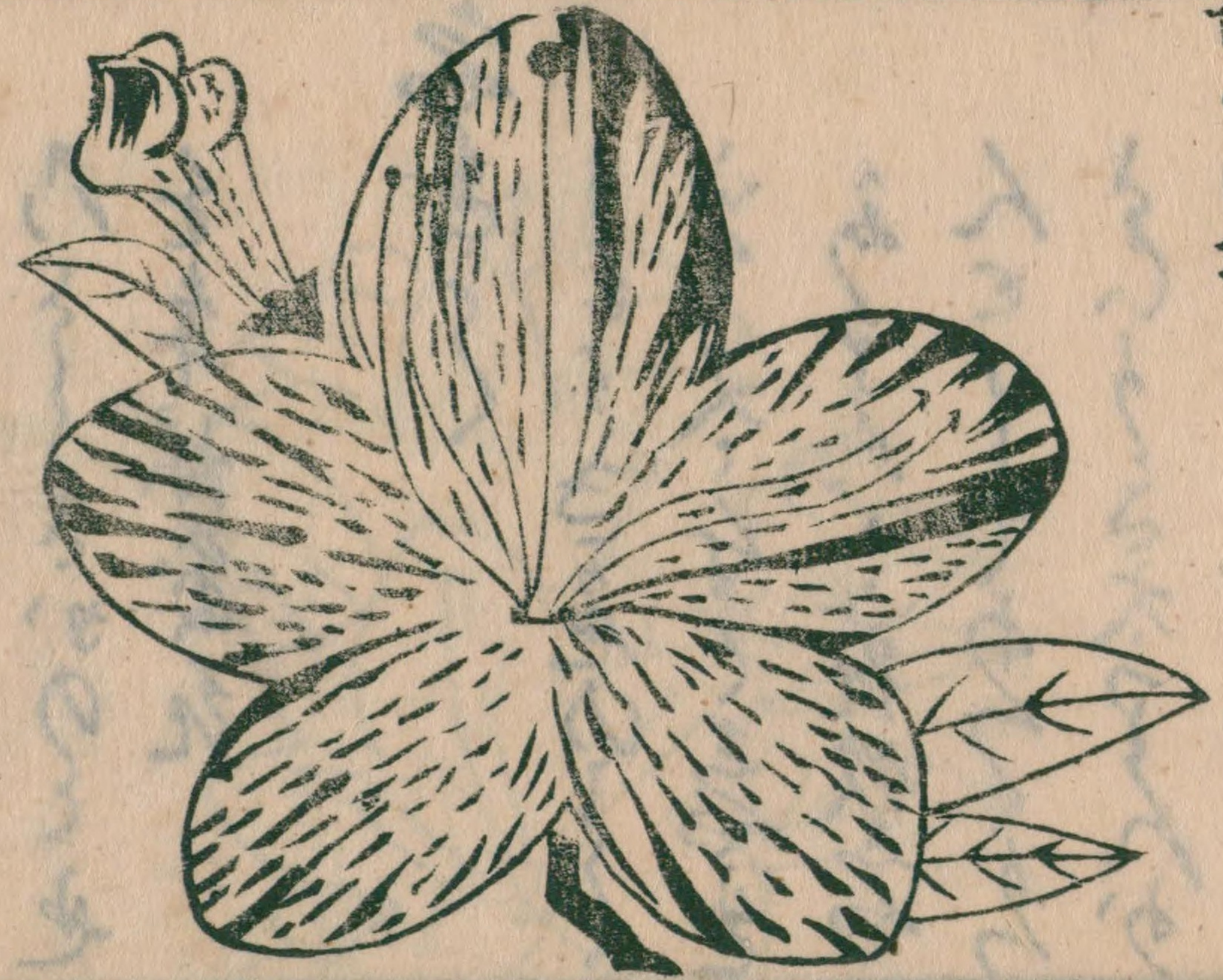


白比と産にし産色
かさ色少く候分志
かろくさくさまは
産色れらんらご
あどらろくろし
乳

ハ一級

ひて自太つん花
秋江一ものぞく
よく白

ハ一級



白比よかたかごん
紅よかたかごん
あどらろくろし

あがり糸比は白落
 色のとび今らんらび
 はんしゅうしんせき
 へんしゅうさかのこせ
 今年採花

あがり糸比は白落
 色のとび今らんらび
 はんしゅうしんせき
 へんしゅうさかのこせ
 今年採花

あがり糸比は白落



あがり糸比は白落
 色のとび今らんらび
 はんしゅうしんせき
 へんしゅうさかのこせ
 今年採花

へんく咲又九十月の
 河分さく余れ四季
 咲くわ花さくさん
 けいさくもさくきこ
 枝葉能はまう町か
 二がまよ花の棉
 花ゆればさくまた
 けいさくさく

〇

さうは

りうきさん

ひめぞ



色わく二を八を
 の小いん花歌成程
 ちり

源氏花

色も花形もまよふ
果はるぎん——乃
こくせふあがり
うんにあり

源氏花

白のまよひ
果はるぎん
こくせふあがり
うんにあり



あつち
源氏花
まよひ

色咲花こししのの
 わの凡諸花は皆白
 比とわくとしび入
 は花あやあ比よ
 白乃もどあつと
 稱美とる人あし
 一

○おとらたの

うとつら比よ屋に
 のとび入あつ太かん
 わつらと色輪ら
 一

×色にたれ



色とれあつ



のこしつゝ花散ハ如景
ニくまニをまきさく
又ひくみかいて花
中より葉のこしつゝ
おもむく自花よ
万葉をさく

大ふ

ありかどこ
太ふん

らん

こしつゝ花散ハ如景
ニくまニをまきさく
又ひくみかいて花
中より葉のこしつゝ
おもむく自花よ
万葉をさく

おふ

こしつゝ花散ハ如景

スズラン草



花

スズラン草
花



花

たらしき



白牡丹のわらさく

かゝる花はいづれも
比はあつたまじり
こゝろのこわり自
らこゝろ乃ア人
花形もあつた
まじり

あつた
すすむ
あつた
あつた

あまのすゑのし
きくすん

玉たまちり



あまのすゑのし
きくすん

あまのすゑのし
きくすん

あまのすゑのし

あまのすゑのし

あまのすゑのし

あまのすゑのし

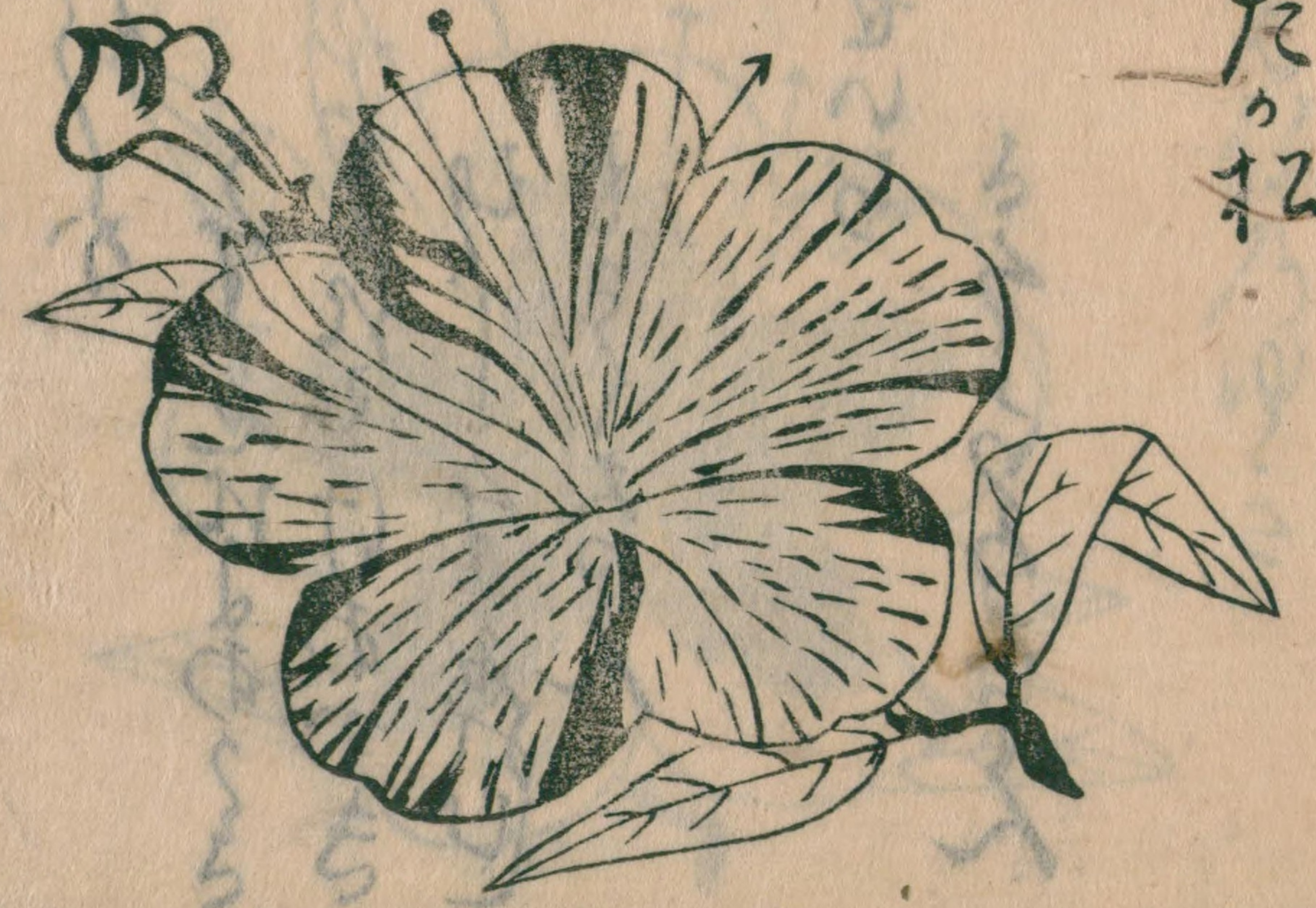
あまのすゑのし

あまのすゑのし

あまのすゑのし

あま

いんげん草
Shunryōzō



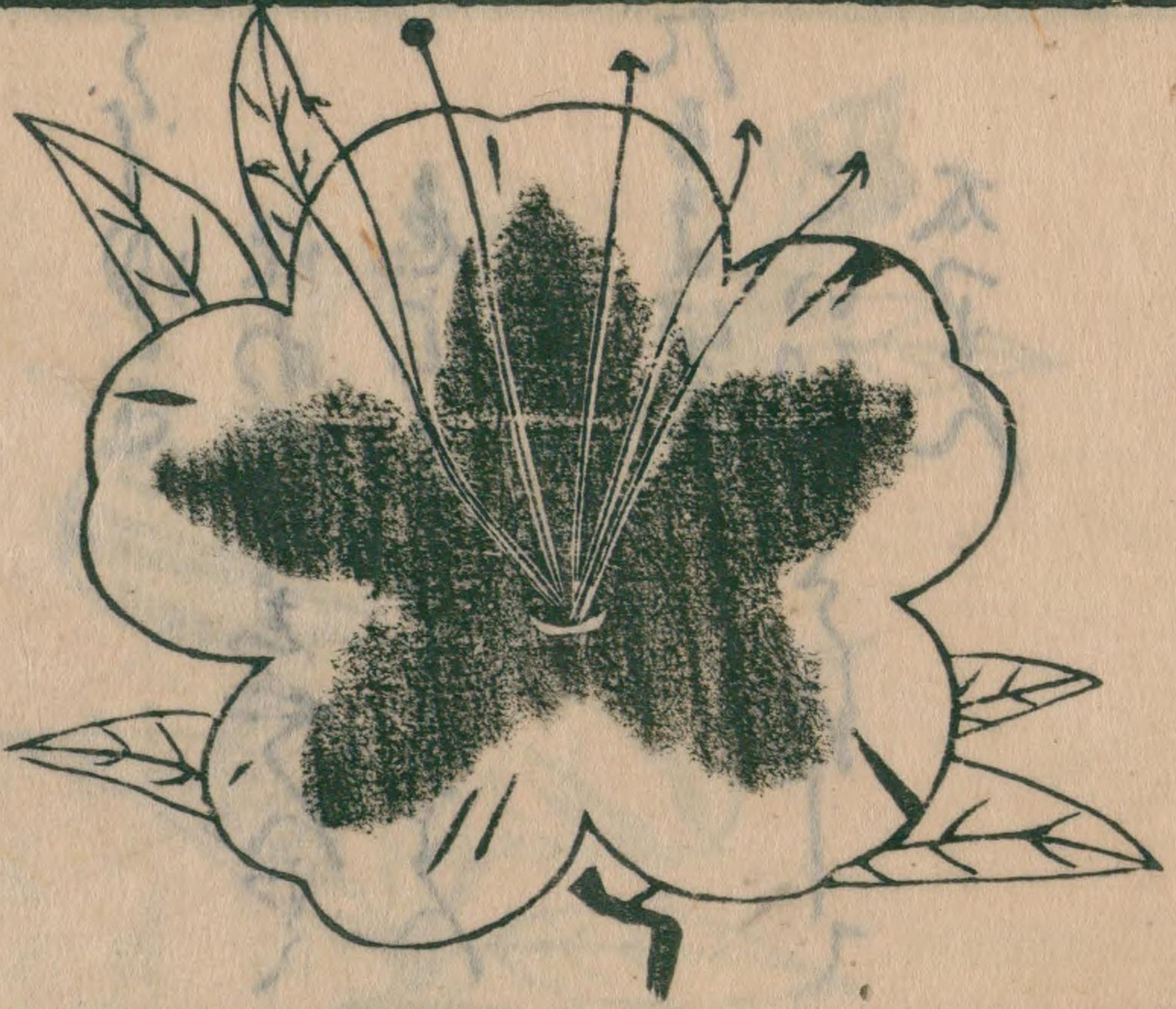
たっね

一名中屋う
一名やぶしげ
色わう



いんげん草

花の中より花も
まはらぬありかといは
し花もいふは



花のつぼみ

さくらさくら

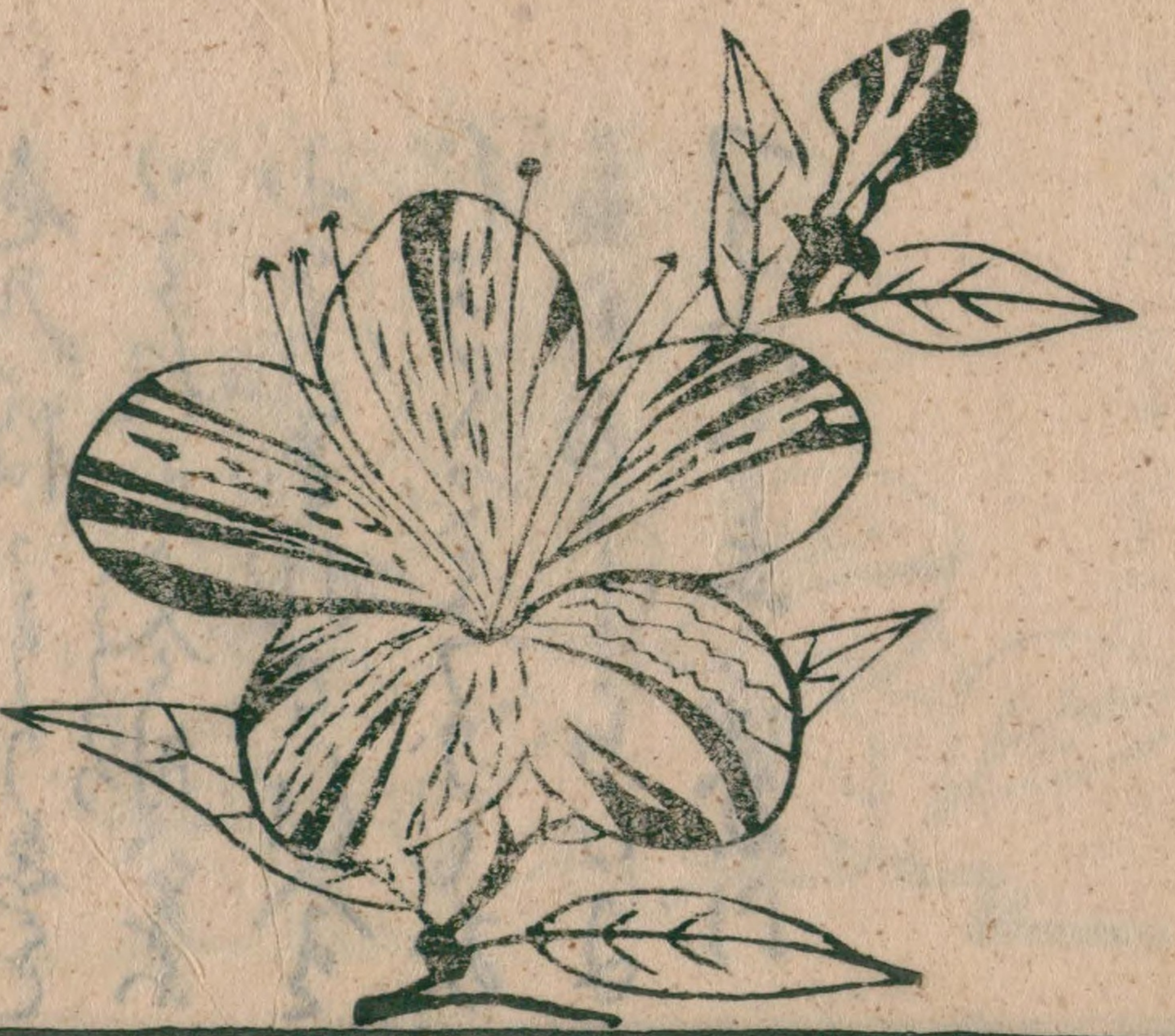
さくら

さくらさくら
さくらさくら
さくらさくら
さくらさくら
さくらさくら

さくら

さくらさくら
さくらさくら

白比とびにゆく
とひ入らすらりかき



花のこころ

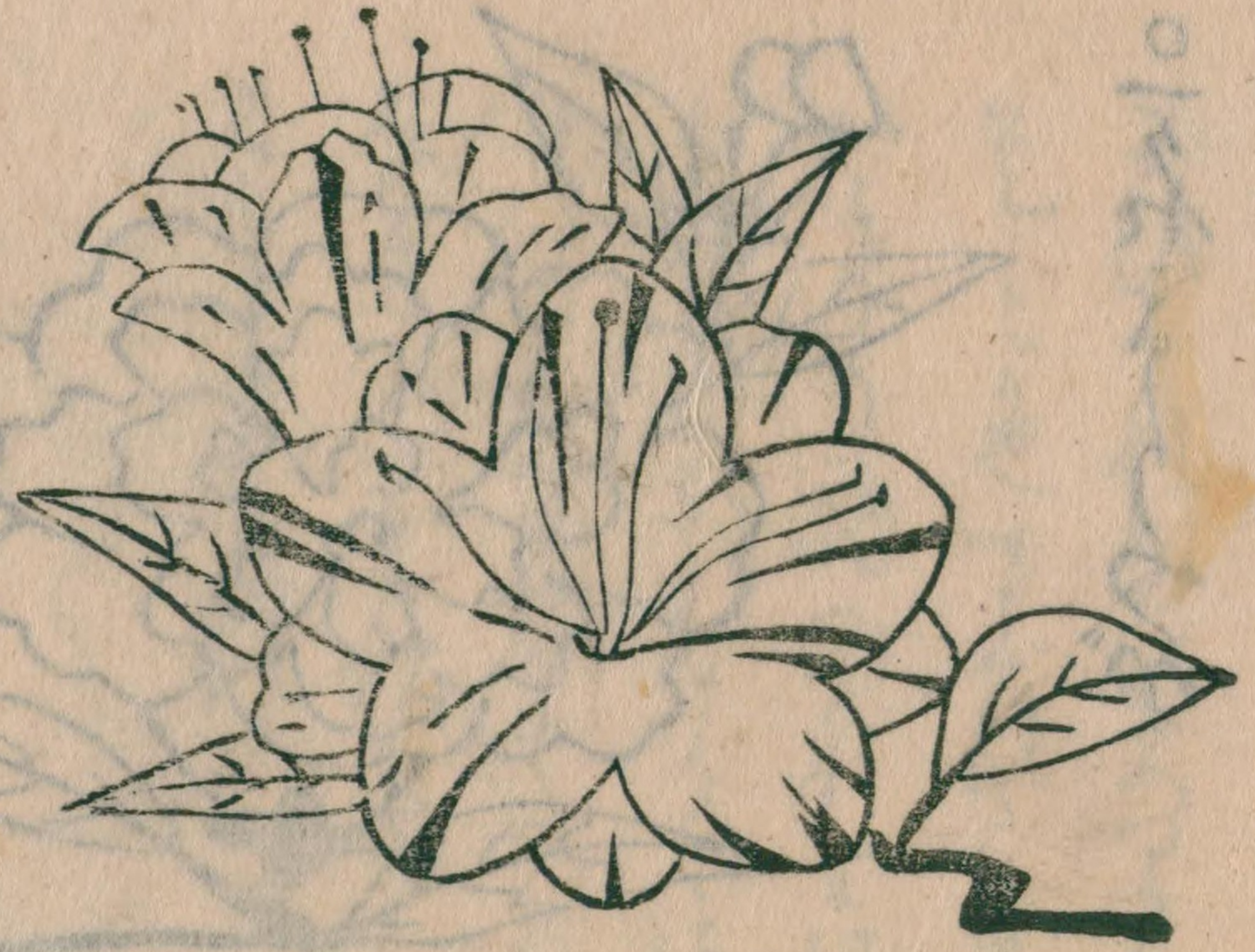
一 見ゆるわくはじり
しるきを年うら
— さいば

ふすゆい
花わつくちんき
色よこしく太つん

○ だるまは家
こらしらるる花
太つん

色のうららかに
 中よかて入るの
 されしけ白赤
 色乃枝のうら
 りもれど冬月
 おもし葉れと
 程うくこころ
 玉あわしら
 つふを年埜
 川

かきうん



かれ色二うさ
 入又しとこ
 秋二な

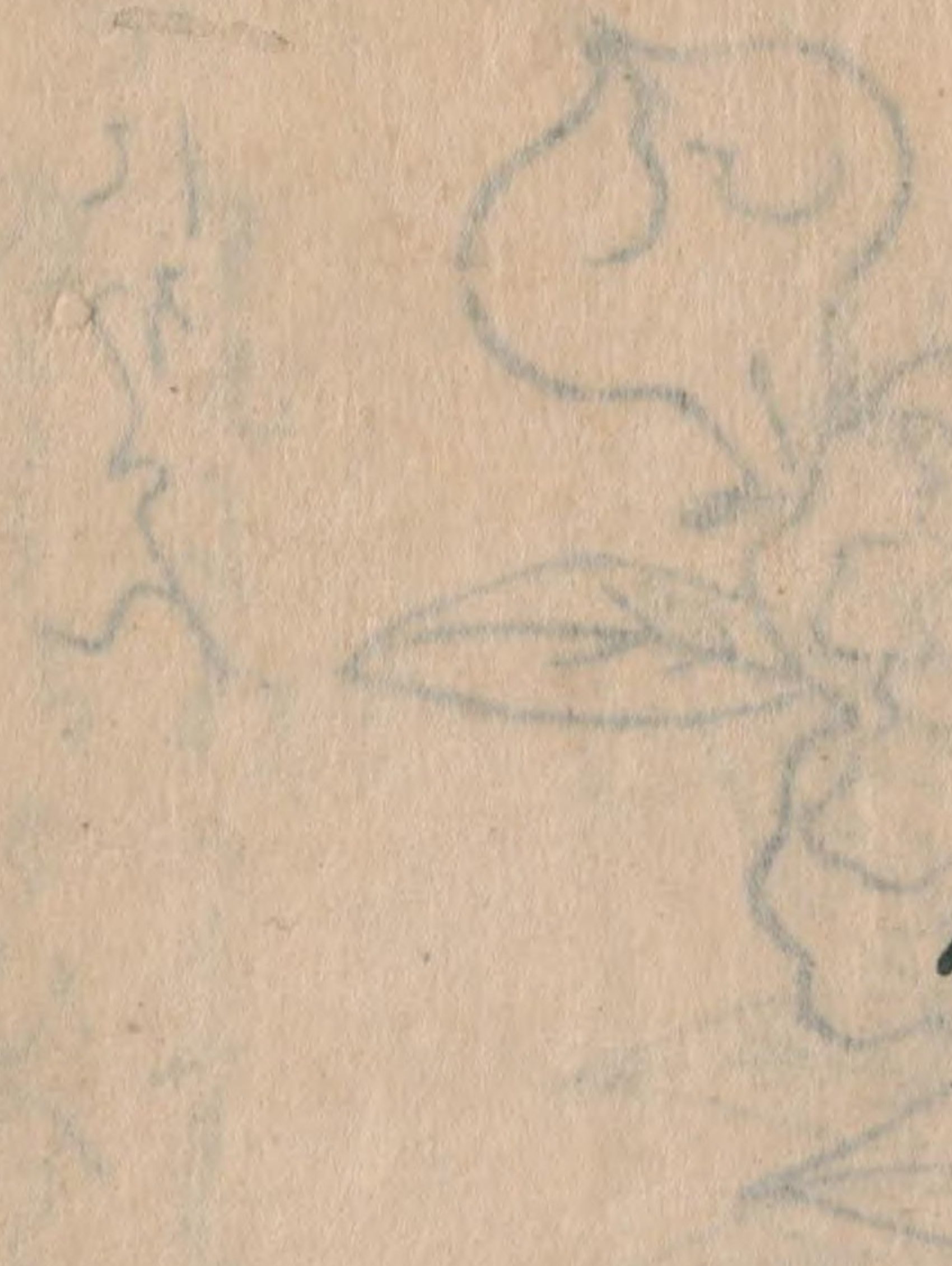
○名ふらつが
色あし



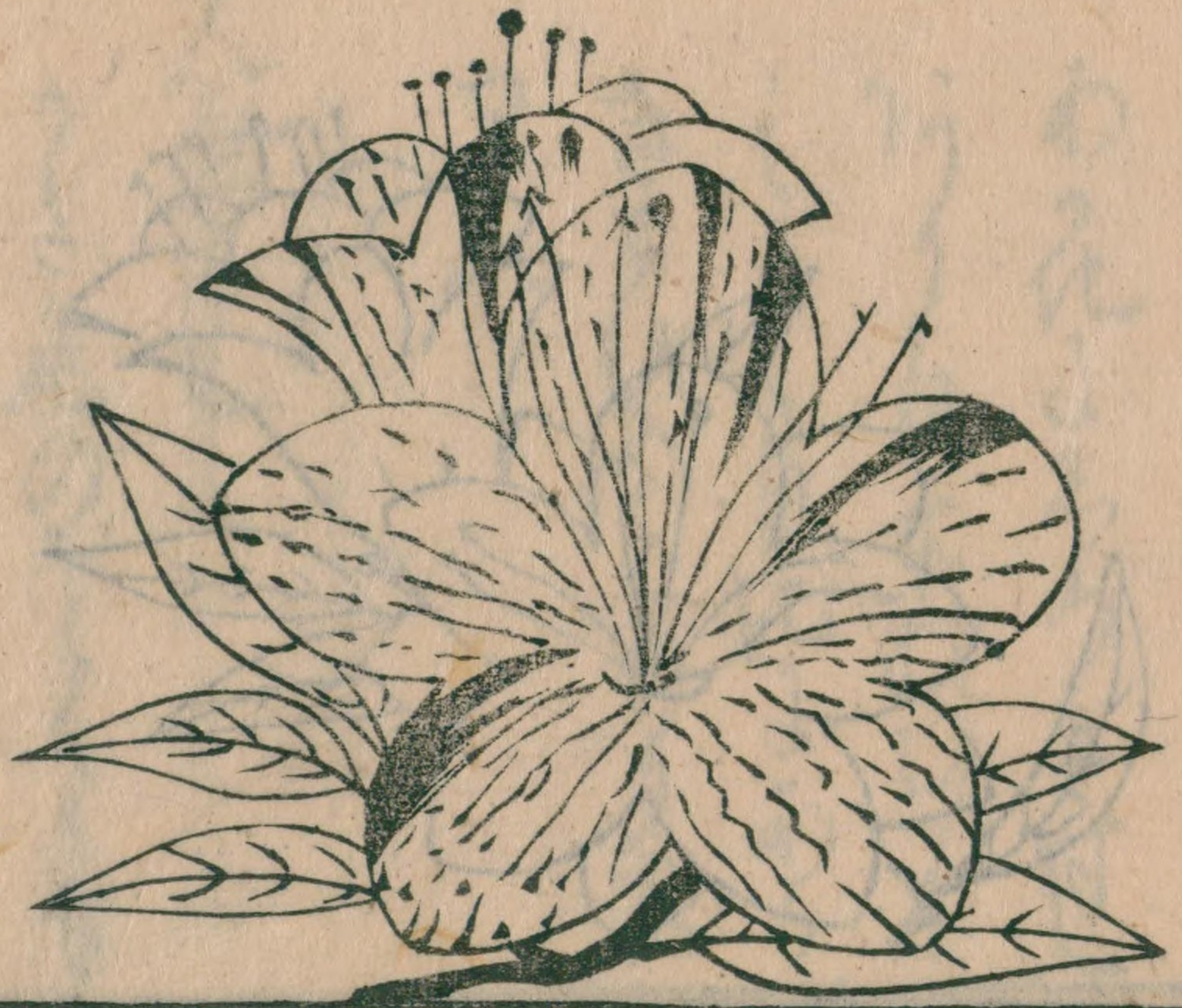
○名ふらつが
色あし

○名ふらつが

こいれあはちん
そと色あし
はらつがの名と
あつがふらつが
まらつがふらつが
あつがふらつが
こいれあはちん



うぶよあつす色
のさしほとび入ん



うづらみこ

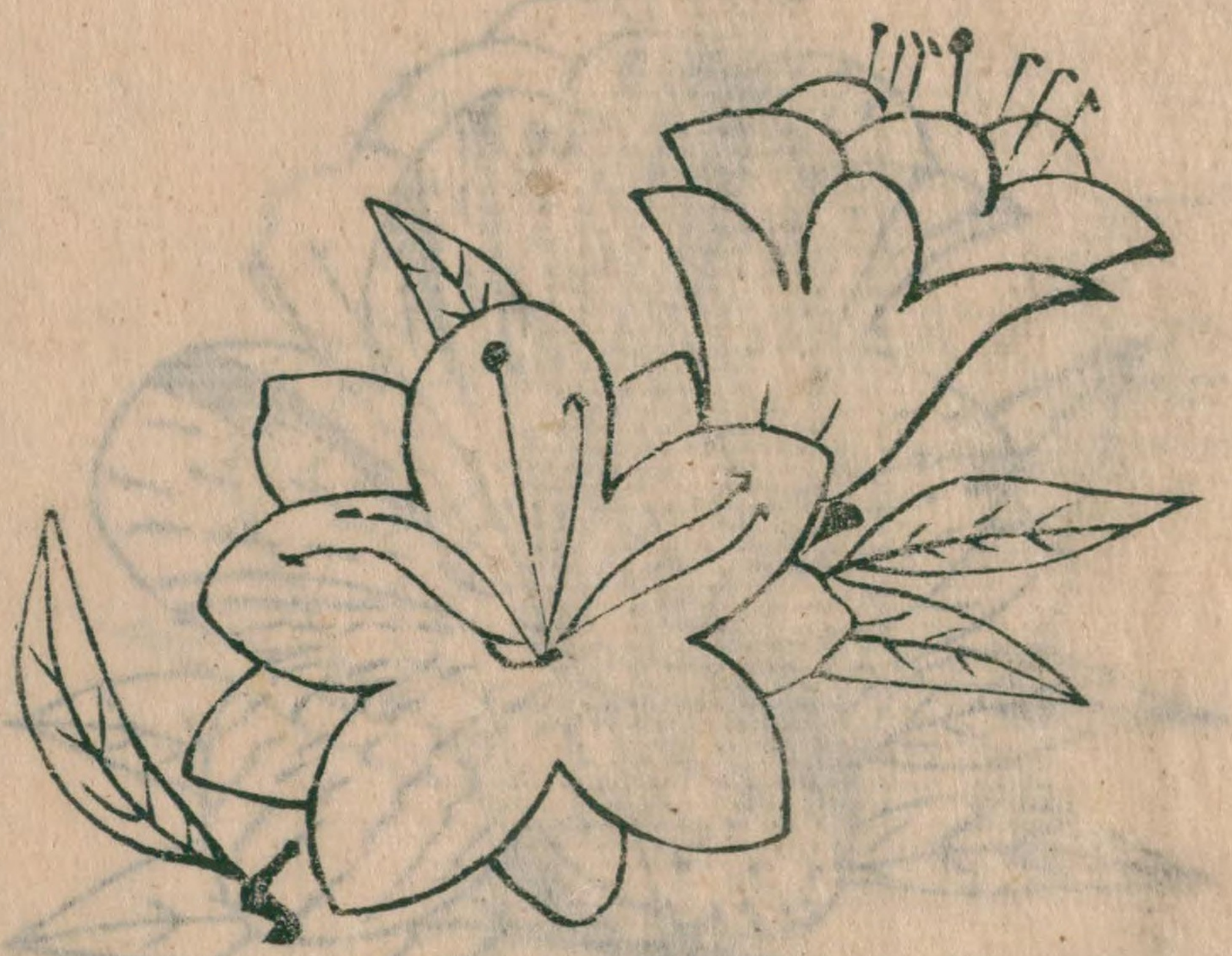
色わー



うづらみこ

らぐみあり

のみぐらから縁



色あり

らぐみ

わ花よちういん何
りり白赤れじ
しとく自比よあり
ままびくとありた
るん

らぐみ

らぐみの
らぐみの
らぐみの
らぐみの
らぐみの

白牡丹に似たり



牡丹

牡丹

牡丹

牡丹の花は
うしろしちとくり
ふじ入る太い

白比とありやどこ
心なまをたてし



おとろふ

わろろとらららら
志がう如景ありわ
かまひらふらら
のじととととと
くらひ花

おとろふ

おとろふ
わろろとららら

かり又うす色沈了
 わうとどいへもる
 白まらうす色沈ん
 りぐいハさうあり松
 清うり太つらん
 て穢きんにちあも
 さく

うのし
 吾拙わづかけ家

じううに太つらん

此の文



白比よだにうすなよ
 わてめあさうらんの
 こもてとび入る

源氏



如景と一と三と書く
下は白一

せい厚

さうい後太のうん
こーこのあり

源氏素

せういれおつもん花
のまのうらに
色いあつかり
ふんさるあつかり

白比わうりす色の
さしあへん



松あま

〜

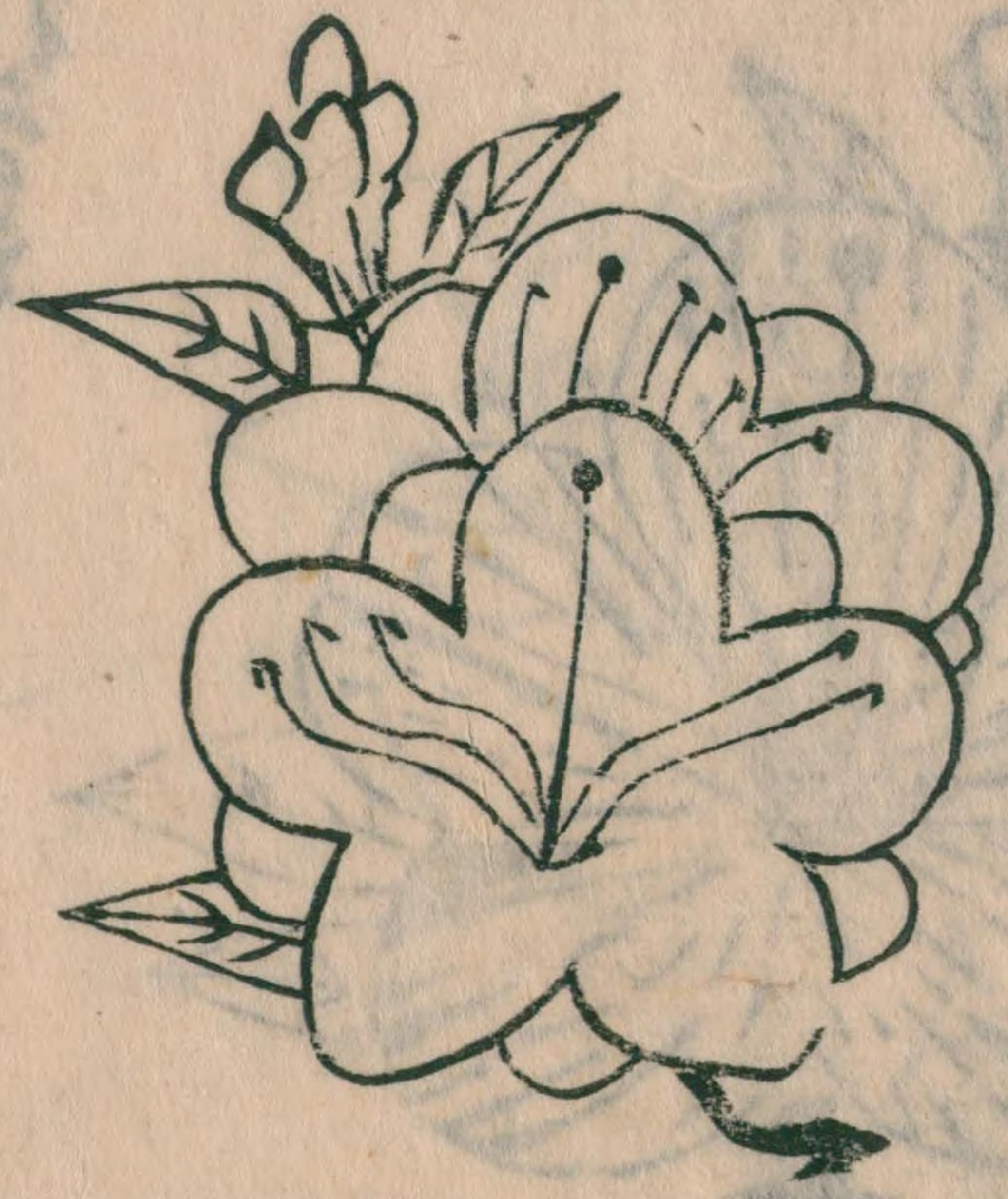
ふらうらうら
と坂花車



色あへん
松あま

うねりけ又らのこ
もあり白糸す
色れじり

うすうす



うすうす

松徳ふしの
まよふ下り松徳
こーみ乃わり

かまびらき
ひんげら
わらび
あんなら
りろく
あんなら

源氏物語の



しず色にわささ花
入あり花乃なり

ちりくまろ

白あし

白あしどわつら
び入かほくま
あしこのわり

よき—Suzuki

あしこのわり
あしこのわり
あしこのわり

白き花のつぼみ



白き花のつぼみ

白き花のつぼみ
らうひまのつぼみ
とれあう

白き花のつぼみ



白き花のつぼみ
あていほくつぼみ

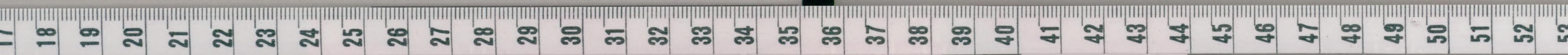
一いつめはあし
 とんゆかすも秋
 あつち果るうひ
 ませは今うひ
 さにあつど又風
 車れどふとさく

さうなこしみの
 まよはうまごまに
 こしこれあつ花
 秋あき合あひもあも不
 園いん

かりとあしこれ



こしあつこし
 二平とろこし
 くられて腸いん菘じゆの



ふくかばいよ
合ぬとらうあ

たう

わうきちん
このま

たう

花のたう
わてら

八



色わ

せん
か

ニ一かろそらう

●のどろろ一様れ

色わしこーの
まふらん



ふらき名あ集之終

げじの五花

こりー飯 紅

こりー飯 白

こりー飯 赤

こりー飯 白八重

こりー飯 梅也

しむ梅とほーの

しむ梅とほーの

しむ梅とほーの

しむ梅とほーの

しむ梅とほーの

しむ梅とほーの

かしらねしはを
名どゆふらにゆふ
や青らん 御衣

えいぎ三苑

一まろし飯咲分

一深成くし魚

一ろりれあい紅

乞とさゆされんを

とりひて青うり黄

黄せり

右にゆくるまはらり

とひそ黄可しは

年かまうておまら

中よ花秋し家

あてるうかどん

事ゆふにみ後

一入丸かきくせふの白ま

一かざらあり咲分

一こつりねはあ八

一えかひ白く

けみ後枝花の心

かて花秋まらん

物体くくふ多る也
りくくくくくくくくく
加してくくくくくく
ことくく

○ 榜 概

附分ハ二月中に
五月中のに
四月のて
三月のて
二月のて
一月のて

又のくくくくくく
本とくくくくくく
本とくくくくくく
長サハ六七分
寸ハ六七分
細工を
室不
妙観の

又さしすおつぎある
 毛ほりし只四又すみし
 長く切ある



髪と三分ニかこ
 三つうくあり

如象是本と切りき
 てはぐゆり切りき
 小葉をいれと切て
 丸をぬぐ切ありと家
 わらういむ皮岸は時
 分者行くとてはむ

○はげしとけ橋の三分に

いづの花と接り
 是直花はさし

枝まゝおは如は毛キかま
 かりあり橋をと腹つ
 り



毛
 髪

如象さるキか
 又ハげしとけ
 り

竹金とてつす
ろいよをかけら
りし紐の糸の下に
あぬこの穴とあり
さへ八月に比竹乃
かき強わけ種木の
りしとさうらまじ
糸と糸とわてぬ又
竹ののりさうあせかく
こ角極くさうしほ
かき種かえらふらば
わらさとりやとら
ともこまきりいざす

句りとまく乗馳うらひえ
むらうこと

○さ一本

花櫃のまらうらに比
うら二寸ちるくぬさと
もこし中よらんくま玉
よこまのふらういわ
つこま守やと平たつら
まよよ砂と又あつさ
めかかろうらあぬむか
おとあつひてさうら
うらまよそつら



狐^あ尾^おこま^こら^らよ^よあ^あら^らふ
 わつ^わふ^ふか^かよ^よ又^又花^花
 と一^一を^をま^まく^くふ^ふ二^二寸
 のは^はま^まり^り知^知ら^らる^る
 檀^たれ^れぬ^ぬこ^この^の目^目に^にあ^あら^らす
 し^しこ^こ枝^枝と^とあ^あら^らす
 ま^まら^らう^うと^とわ^わけ^け
 う^うら^らう^う一^一又^又赤^赤玉^玉と
 砂^さお^おひ^ひは^はま^まら^らる^る食^食あ^あ
 こ^こら^らう^う一^一本^本
 湿^し比^比あ^あら^らる^る一^一
 ち^ちく^く一^一て^て湿^しい^いま^ま
 下^下へ^へお^おく^く又^又あ^あら^らる^る一^一

じ^じり^りう^う一^一と^とう^う
 葉^あの^の下^かで^でと^とら^らて
 日^ひう^うけ^けと^と下^から^らあ^あら^らす
 又^又一^一人^人



枝^え如^には^は長^ちし^し三^{さん}回^{かい}寸^{すん}程^{ほど}
 よ^よ切^きら^らる^るよ^よ切^きら^らる^るけ^け
 二^に寸^{すん}は^は何^{なに}れ^れぞ^ぞと^とい^いふ
 一^一寸^{すん}は^は何^{なに}れ^れぞ^ぞと^とい^いふ
 一^一寸^{すん}は^は何^{なに}れ^れぞ^ぞと^とい^いふ
 一^一寸^{すん}は^は何^{なに}れ^れぞ^ぞと^とい^いふ



銅^{わが}おて^は存^くる^る如^やり
し^らわ^める^るを^とめ
音^なの^どく^ん新^{けい}
あ^らせ^あら^うら^う

當年のめ



又^めら^うと^しあ^り
是^は一^ま年^が初^め
と^とと^と去^るね
右^は月^一但^枝は^ん
ね^の口^傳
何^もよ^よと^しれ^を
目^うけ^とす^る但^一

八九月の雨分^く桂^く
を^冬暖^あり^不う^し

○こ^をし^り

昔^かれ^流る^海の^去
と^わげ^うく^はり^と
ま^うよ^あら^ひ何^も
あ^らく^とそ^の去^へ
三^分一^まを^桂
又^来の^多と^去
づ^らと^とと^と去^の
し^らわ^める^るを^とめ
右^は一^まの^去三^分
一^まを^桂る^をと^め

五

四



の肥^くめり志のぶふと
いふ^た徳^が木^にはるれど
け^いし^らう^いふ^いふ^い
よ^らぐ^れて^き
又^ち下^く糞^{ぐん}一^ち桶^け水^{すい}桶^けと^い入^り
亦^も日^ひ又^も二^に三^{さん}日^に程^{ほど}
く^さか^しか^し糞^{ぐん}け^の
ま^きい^しめ^しま^ふあ^そ
こ^して^ぬら^うう^まは^ぬ
り^しか^ける^枝葉^はに
か^らぬ^らう^まは^ぬ
ぬ^らう^まは^ぬ
ま^き又^も二^に三^{さん}日^にの^まよ

ま^き本^{もと}よ^まを^あ合^あわ^せし^て
れ^んか^め七^{しち}尺^{ふち}の^木ま^きい^は
よ^まを^ま練^ねり^し免^え
角^{かく}こ^う一^{いち}に^にぬ^られ^ば
枝^え葉^はの^えら^うて
木^きの^いし^めと^あり^但
二^に月^{げつ}八^{はち}月^{げつ}の^らう^し
冬^{ふゆ}月^{げつ}を^し可^かし^夏月^{げつ}
ハ^らウ^カ一^{いち}年^{ねん}よ
二^に分^{ぶん}か^どあ^そう^し又
ま^き又^もう^まは^ぬ
こ^う一^{いち}に^にぬ^られ^ば

五
一



長生花林抄

百年乃^カ其^キ花^ハ林^{リン}抄^{セウ}中^{チュウ}の
一本生^{ヒトポン}して百^{ヒャク}林^{リン}子^シ葉^{エフ}つ
ちり^{チリ}葉^{エフ}まじり^{マシ}り^リ色^{イロ}香^{カウ}
やう^{ヤウ}と^トも^モあ^アら^ラう^ウら^ラを^ヲ
し^シて^テ各^{カク}右^{ミダ}に^ニち^チさ^サの^ノや^ヤく
似^ニ山^{ヤマ}と^ト毒^{ドク}乃^ノ形^{カタ}母^{ハハ}依^ヨり^リと
終^{ハシ}極^{キョク}ら^ラの^ノ花^ハ林^{リン}抄^{セウ}の
二^ニ持^{モチ}花^ハ初^{ハツ}草^{ソウ}う^ウら^ラ其^キ花^ハ實^{ジツ}
成^{ナリ}く^クか^カ葉^{エフ}百^{ヒャク}化^カ乃^ノ赤^{セキ}形^{カタ}
す^スて^テ二^ニ百^{ヒャク}葉^{エフ}品^{ヒン}又^{マタ}乃^ノあ^アら^ラ
か^カの^ノ葉^{エフ}乃^ノ大^{ダイ}小^{ショウ}房^{ハウ}葉^{エフ}枝^{エダ}
う^ウら^ラ葉^{エフ}の^ノこ^コの^ノあ^アら^ラを^ヲ

[Faint bleed-through text from the reverse side of the page]



けり挿て道ら生花林抄
 とらぬのじし自然ら
 あよつちのふとあふと
 係すんかぬらう予ふ
 一言をこのむらうら
 ぬらやーらぬと甫ら
 ぬら花林抄すまふふ
 秀筆を揮ふに浦敷人
 外傳書すまふ

嘉永二酉年改補

芝神明前

岡田屋嘉七

日本橋通二丁目
小林新兵衛

同所
山城屋佐兵衛

江戸
同壹丁目
須原屋茂兵衛

浅州茅町二丁目
同
伊八

寺町松原
勝村治右衛門

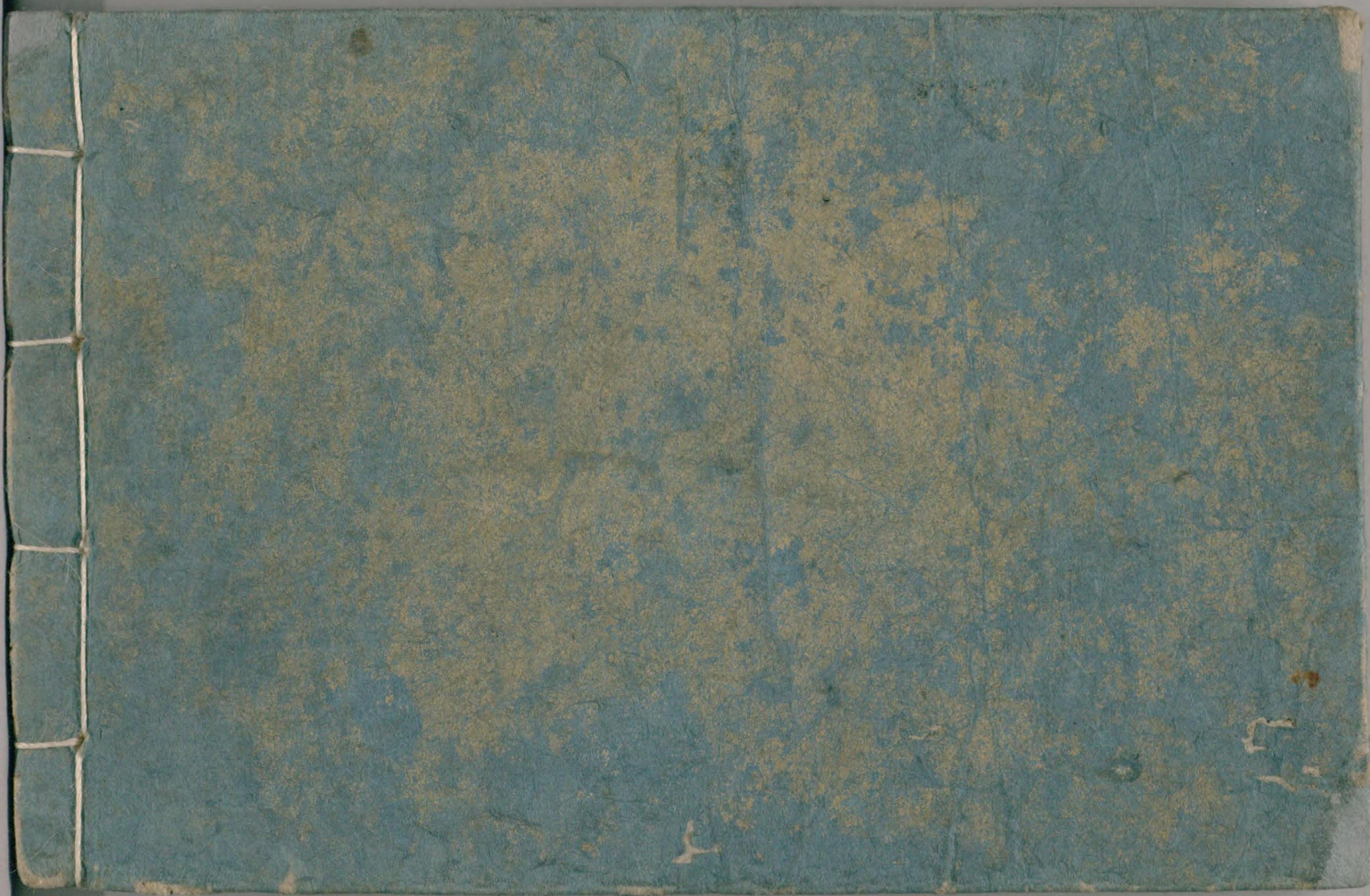
京都
同三条西八入
丸屋善兵衛

心齋橋通順慶町
柏原屋清右衛門

同久宝寺町
堺屋新兵衛

同安堂寺町
秋田屋太右衛門





国立国会図書館 タイトル『長生花林抄 5巻』 請求記号 特1-2955

ガラス使用